

指定管理者導入施設 管理運営総合評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市営自転車駐車場（生駒駅前自転車駐車場、生駒駅前第2自転車駐車場、生駒駅南自転車駐車場）			
所在地	駅前：元町1丁目461-1、駅前第2：元町2丁目229-4、駅南：山崎新町144-45			
指定管理者名	公益社団法人生駒市シルバー人材センター	指定期間	開始日	平成28年 4月 1日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 3年 3月31日
選定方法	非公募	評価実施年	最終年度を除く指定管理期間全体	
設置目的	道路の効用の保持及び道路交通の円滑化を図り、あわせて自転車等利用者の利便に資するため			
主な実施事業等	自転車及び自動二輪車の一時利用及び定期利用（1ヶ月及び3ヶ月）			

2 利用実績

利用区分等	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
生駒駅前自転車駐車場	円			6,816,690	6,402,300	6,472,180	6,731,785
生駒駅前第2自転車駐車場	円			1,577,950	1,477,900	1,409,700	1,531,750
生駒駅南自転車駐車場	円			2,420,290	2,533,150	2,560,010	2,765,790

3 事業収支

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
収入計	A	0	0	10,831,854	10,413,444	10,441,908	11,029,344
指定管理料				0	0	0	0
利用料金収入				10,813,930	10,413,350	10,441,890	11,029,325
自主事業収入				0	0	0	0
その他				17,924	94	18	19
支出計	B	0	0	19,130,947	20,008,024	21,631,936	22,079,737
指定事業費				19,130,947	20,008,024	21,631,936	22,079,737
自主事業費				0	0	0	0
事業収支	A-B	0	0	-8,299,093	-9,594,580	-11,190,028	-11,050,393

4 管理運営状況評価

有効性 ：施設の設置目的の達成（施設の目的や特性等に合致した管理運営、市民の平等な利用の確保、利用者の満足度等）	
指定管理者による自己評価	指定管理自転車駐車場施設の設備を有効活用し、各区画の見直しによって高齢者及び障がい者に配慮するとともに、利用者全体にとって利便性や快適性を高めました。また、アンケート調査を毎年行ってサービス向上にも努めており、その結果をふまえた自転車駐車場の管理運営を行いました。
市の評価	条例で定められた施設の設置目的を達成することはもとより、駐車状況に応じた現場ならではの臨機応変な対応がなされるとともに、駐車場の配置が高齢者等の交通弱者に配慮されたものとなるなど、現指定管理者ならではの心配りも感じられ、大変評価できるものです。引き続き、提供サービスのさらなる向上に向けて取り組んでください。
効率性 ：経費の縮減等の効果（経費縮減・収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	電気等の光熱費は、従業員の協力によって可能な限り節約して運営を行いました。しかしながら、昨今の最低賃金の大幅な引き上げによる人件費の高騰に伴って、収益面が圧迫されている状況にあります。
市の評価	光熱費の削減に加えて従業員の勤務体制等を精査による最低賃金が上昇する中での人件費の削減について、それぞれ継続的に取り組まれています。今後においても、引き続きこれらの取組を継続されるよう心がけてください。また、毎年実施しているアンケートの結果から、引き続き利用者のニーズにあったサービスを企画・実施されるよう期待しております。
適正性 ：適正な施設の管理運営（施設の管理運営の状況、自主事業の取組、安全管理・危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	自転車駐車場内における貴重品や重要な物の保管は必要最低限としており、事故や緊急時には事務局一体となって対応を行いました。また、各自転車駐車場の消防設備やベルトコンベア等の設備も毎年点検を実施し、施設の安全管理も適切に行いました。
市の評価	従事場所や時間帯によって適正と考えられる人員配置がなされています。また、各駐車場の消防設備やベルトコンベア等設備の点検についても適時実施し安全面においても適切に管理されています。今後においても、引き続き継続されるよう心がけてください。

安定性：サービスの安定的な提供（事業収支の状況）

指定管理者による自己評価

「効率性」に記載したとおり、現状の自転車駐車場では経費削減や収入増加は難しいことから、引き続き利用者へのサービス向上によって利用者を増やし、収入を増加させることで、少しでも収支状況の改善を図ろうと考えています。

市の評価

毎年実施される利用者へのアンケートの結果から概ね利用者に満足いただいていることが窺えますが、少数のニーズも把握し、工夫・改善できることから取り組むようにしてください。また、ヒアリングでは、今後の安定的な収入源となるよう、次年度以降の新規施策の構想案を伺うこともできました。このほかにも、利用者のさらなる増加につながるような複数の工夫・企画を期待するところです。

5 総合評価（指定管理期間全体を通じた管理運営に対する評価）

指定管理者による自己評価

指定管理期間の後半から無人自転車駐車場の収入を含めた収益の悪化が顕著となりました。利用者の減少が進む中で、もう少し早く手を打って対処できることから取り組む必要があったように感じています。ただし、人件費の増加等による避けられない支出増がある中で、現状の自転車駐車場の設備では利用料金を見直す以外には収支を改善する方法は見当たらないと考えられ、今後も経費削減に取り組む必要は大いにあると感じています。

市の評価

利用者へのアンケート結果から、施設の設置目的は概ね達成しているものと評価できるところです。他方、自転車駐車場の利用者数の減少傾向には歯止めがかかっていないことから、今後の大幅な増加は難しいことが想定されるものの、引き続き経費の節減に精力的に取り組まれるとともに、利用者のニーズを把握し、提供サービスの質の向上や苦情等への早急な対応・改善によって、少しでも利用者の増加につなげることができるよう期待するところです。